

令和8年度 金石市男女共同参画推進協議会開催結果

1. 日 時 令和8年8月20日（木）16:00～16:45
2. 場 所 第1庁舎2階 第2会議室
3. 出席者等 <出席委員6人>
市川淳子委員、浦嶋博幸委員、小山明日奈委員、佐々木楊篤委員、東梅和輝委員、
山本理悦子委員
<市側出席者>
小野共市長
総合政策課男女共同参画室室長 金野 尚史
総合政策課男女共同参画室係長 古藤野 祐美
総合政策課男女共同参画室主事補 山本 葉月
4. 経過・結果 別紙次第のとおり、新たに委員を委嘱した木村委員について紹介し、市長挨拶
のうえ下記の議事について質疑応答及び意見交換を行った。

議事：令和7年度事業実施結果及び令和8年度事業計画について

【主な発言は以下のとおり】

【浦嶋委員】 男女共同参画に積極的に取り組んでいる一般企業に対し、市の認定制度はあるのか。

【事務局】 資料No.1の2ページ「4.子育て応援企業認定数」のとおり、女性の社会進出や子育て支援に積極的に取り組む企業を市が認定し、公表することで啓発を行っている。
一方で、大企業に比べ中小企業は認定されにくい面もあり、制度の周知・活用には課題がある。

【浦嶋委員】 認定企業であることを示す旗印などを市民の目に見える場所に設置することで、企業の取組が可視化され、市民の意識向上や行動の変化に繋がるのではないかと。

【事務局】 例えば、金石シーウェイブスのサポーター企業に配布されている旗のように、認定企業が店頭に掲示することで、市民が「女性や子育てを応援している企業である」と認識し、利用促進につながるという趣旨か。

【浦嶋委員】 男女共同参画に関する講習等を受講していることが目に見える形で示されるだけでも効果があると思う。

【事務局】 認定企業の周知方法については、今年度改めて検討したい。市民に分かりやすく周知する方法について議論を重ね、調査研究を進めていく。

【市 長】 興味深い提案である。ステッカーをカウンターなどに貼るだけでも効果があると思う。

【事務局】 岩手県では、ミルク用のお湯の提供やおむつ替えスペースを設置している施設等にステッカーを配布する取組を行っている。本市の「赤ちゃんの駅」も同様にステッカーを掲示しており、利用者は授乳やおむつ替えなどのサービスを受けることができる。

ただし、昨年度申請件数が0件であった。一般市民が利用する店舗と事業所では提供できるサービスが異なることも考えられるため、関係課と連携しながら検討していきたい。

【事務局】 消防団応援事業では、ラーメン100円引きや生ビール1杯無料などのサービスを提供する応援企業もある。子育て分野において同様の取組が可能かどうか調査研究したい。

【浦嶋委員】 SNS や市ホームページで応援企業を紹介する取組も有効ではないか。

【事務局】 資料No.1の5ページ「4. 子育て応援企業認定制度の活用」に記載のとおり、市ホームページでは周知しているが、SNS による発信は現在行っていない。

【浦嶋委員】 ホームページでの掲載も重要だが、ステッカーなどの方が成果が目に見えるため分かりやすいと思う。

【市 長】 子育て応援企業として認定されている9社はどの企業か。

【事務局】 確認の上、後ほどお伝えする。

【市 長】 「あそびばがー」について紹介したい。

子育て中の保護者から、「市内に雨天時でも子どもを連れて遊べる場所が欲しい」という要望が寄せられたことが事業のきっかけである。

場所の選定にあたっては、①買い物ができること、②市街地中心部に位置すること、③飲食ができること、の3点を条件とした。その結果、イオンタウン釜石とシープラザ釜石が候補となり、総合的に判断してイオンタウン釜石に設置した。

先週も現地を視察したが、多くの子どもたちでにぎわっており、利用者からも好評を得ている。

また、保護者からは「子どもだけで遊ばせることは難しいため、見守る人員を配置してほしい」との意見があった。当初は他の公園と同様に管理員を配置しない方針だったが、4月29日のオープン当初から管理員を配置した。結果として、配置してよかったと感じている。

【事務局】 先ほどご質問のあった認定企業について報告する。認定企業は、社会福祉法人清風会、社会福祉法人楽水会、日本製鉄株式会社北日本製鉄所釜石地区、釜石ヒカリフーズ株式会社、社会福祉法人岩手徳栄会、株式会社エヌエスオカムラ、岩館電気株式会社釜石営業所、株式会社山元、山崎建設株式会社の9社である。

これらの企業は、子育て中の従業員に対し、小学校就学前までの子どもの看護休暇や短

時間勤務制度などの支援を実施している。

【市 長】 子育て応援企業に対しては、何らかのメリットを付与したい。

【市川委員】 資料№1の2ページ「2.市職員管理職に占める女性の割合」について、令和6年度現状値が29.4%である一方、令和7年度実績値は26.1%となっている。令和10年度目標値35.0%との関係も含め、この数値の捉え方と県内における本市の現状について伺いたい。

【事務局】 市長挨拶にもあったとおり、市職員の管理職に占める女性割合29.4%は県内自治体で最も高い水準となっている。

令和7年度に割合が低下した理由については、令和7年度に退職した女性管理職が多い一方で、新たに管理職となる女性職員が少なかったためである。

年度ごとに男女比率は変動するため、目標達成に向けて、継続的な女性職員の採用や昇進について検討していきたい。

【市川委員】 同ページ「5.市職員における男性の育児休業取得率」について、令和10年度目標値が100%となっているが、非常に高い目標であると感じる。

【事務局】 25年前は、男性が育児休業を取得することは恥ずかしいことで、周囲から驚かれるような時代だった。しかし現在では、ほとんどの対象職員が取得している。

令和7年度実績値83.3%については、例えば令和7年2月に子どもが出生し、5月に育児休業を取得した場合など、集計上反映されないケースも含まれている。実態としては100%に近い状況である。

今後も総務課による周知や、管理職が年度当初の面談時に取得を促すなど、取得しやすい職場環境づくりを継続していきたい。

【市川委員】 同ページ「6.女性防災士数」とあるが、男性防災士は何人いるのか。

【市 長】 釜石市民の防災士は約500人であり、そのうち145人が女性であることから、男性は約360人である。

【山本委員】 釜石市産後ケア事業「まんまるぎゅっと」は、多田旅館で実施しているという認識でよいか。

【事務局】 昨年度までは多田旅館で実施していたが、今年度からは向かいの釜石復興ビルへ移転して実施している。

多田旅館は入浴施設を利用できる点で利便性が高かったが、経営上の事情により、現在は釜石復興ビルで事業を実施している。

議事：その他

【主な発言は以下のとおり】

【市川委員】 7月20日に開催された「県×サポーター×市町村による意見交換会」に、古藤野係長と私が当市を代表して参加した。他の沿岸地域との意見交換会の中で、最終的には「男女共同参画の考え方を市民へどのように広めていくか」、「普及のためにどのような取組を行うか」、「男女共同参画サポーターを中心にどのように活動していくか」という3つの柱に議論が集約された。そのためには、今後も継続して学びながら取り組んでいく必要があることを参加者同士で認識し、意見交換会を終えた。

本日の会議は今年度最後となるが、今後も男女共同参画に関する研修等が予定されているため、都合のつく方にはぜひ積極的に参加していただきたい。

【事務局】 事務局からも、国や県からセミナー等の案内があり次第委員の皆様へお知らせする。11月には釜石 PIT でパープルセミナーを開催する予定であり、案内を送付するので、ぜひ参加していただきたい。

【山本委員】 今、市川委員からお話のあった内容は、実は以前から私も感じていたことである。男女共同参画サポーターはどのようなことを学び活動しているのかについて、多くの委員は十分知らないまま会議に参加しているのではないかと思う。

これまで学んだ内容や活動について共有する機会がこれまであまりなかったため、「このようなことを学びました」という情報を委員の皆さんにも知っていただき、そのうえで会議に参加していただければ、より有意義な議論につながるのではないかと考える。

【事務局】 私自身も今年度から男女共同参画室に配属されたばかりであり、そうした点についても皆さんと一緒に取り組んでいきたいと考えている。また、市長もそうした取組を後押しする考えをお持ちであり、小安氏をお招きするなど、学びを深める機会の充実を図りたいと考えている。

小安氏は、テレビ番組「クローズアップ現代」に出演するなど、男女共同参画分野における第一人者であり、当市の地方創生アドバイザーも務めている。そうした方と委員の皆さんが交流できる機会についても検討しながら進めていきたい。

【市長】 男女共同参画に関するセミナーは、年1回開催していたのではなかったか。

【事務局】 市が主催するセミナーとしては、11月に開催予定のパープルセミナーがあり、講師を招いて実施する。また、6月には県主催の「いわて男女共同参画オンラインセミナー」が開催され、県内自治体へ周知された。山本委員や市川委員にも参加いただいた。

【市長】 小安氏を講師とした研修については、市民向けでも職員向けでもよいので、ぜひ釜石市男女共同参画推進協議会の委員の皆さんにも参加いただけるようにしてほしい。

【事務局】 ぜひ参加していただきたい。多くの方に関わっていただきながら、男女共同参画の推進に向けて良い方向へ進めていきたい。

— 閉会16：45 —